

事業報告書（令和7年度）

事業名 健全な親子関係は持続可能な社会づくりの原点

団体名 いろは 邑 担当者名 笹 治

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）
日 時：2025年7月12日（土）10：00～12：00 場 所：吉備公民館 対象者：岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む） 人 数：22人 内 容：演題「人育て人育ちセミナー」磯部晋吾講師を招いて、交流分析という心理学に基づいた人格形成の理論とコミュニケーションの原理の学び。個性を知るためのワークと自己理解、他者理解を深めコミュニケーションを実践するワークも行い、より円滑に満足した双方向のコミュニケーションが日常に実践できる様な具体的な実践法の体験学習。 個別相談。
日 時：2025年10月20日（月）9：45～12：45 場 所：大元公民館 対象者：岡山市民（岡山市に在住・在勤・在学を含む） 人 数：12人 内 容：演題「自立の実現のために甘えの真実と構造」及びフォロー会、交流会
2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか 自身の素質を心理学や精神分析や生命科学等々の学問で知り、心や意識の傾向性は成育歴、親からの影響を多分に受けていると気づき、親子関係、人間関係の見つめ直しが参加者の皆ができました。心傷が癒されていくと各々が自己実現を確実に成し遂げに向かわれています。 人間関係を構築していく心掛けの変容による行動やコミュニケーションの上達は目を見張るほどの感動的なものでした。参加者の皆さんが成果を体感し体現していったので、互いの人格と成育歴と人生経験を理解し尊重していくことで、人間関係が愛情と信頼の心で結ばれているかどうかを気づきながら人間関係を意識して行動していく連鎖の変容が起きました。身近な人間関係、とりわけ家庭での親子関係、家族関係が人格形成の基であり人生に多大な影響を及ぼし、あらゆる組織の核となり、社会をつくっていくとの参加者の気づきが意識に落とし込まれていきました。

② どのように学び合いを取り入れたか

交流分析という心理学に基づいた人格形成の理論とコミュニケーションの原理を学び、臨床心理学を基にした親業の具体的なコミュニケーションの実践法を学んだ。

理論の学びのみならず、個性を知るためのワークも行い、その場で、各々で自己理解、他者理解を深めコミュニケーションを実践するワークを行い参加者同士で体感を共有もして、日常で、より円滑に満足した双方向のコミュニケーションができる様に具体的な実践法と体感ができて意識に落としこめるような学び合いを取り入れた。また、子育てや人生、大人になってからの人間関係に多大な影響を及ぼす自身の親子関係、生育歴の見つめ直しをして自己実現とコミュニケーションのあり方を深める学びとワークを取り入れました。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

交流分析という心理学に基づいた人格形成の理論とコミュニケーションの原理を学び、親業の具体的なコミュニケーションの実践法を学び、その場で、各々で実践するワークを行い参加者同士で体感を共有もして、日常で、より良好に双方向のコミュニケーションができる様に具体的な実践法と体感ができて意識に落としこめるような学び合いを取り入れました。さらに、個人の相談の場も設けて、各々が日常に実践できるような工夫を行いました。また、フォローアップとしての会を数回、オンラインとリアルで行いました。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

生命科学、脳科学、心理学の研究実績に基づいた理論や哲学を基にした、日常に実践出来て効果が体感できる具体的なコミュニケーションの実践法や体験学習を提供しました。

わかりやすく知ることによって未解決な問題の根本要因に気づき、解決への行動が起こしやすいため課題の克服や目標達成も容易になっていきました。参加者が自分もやればできる、知って気付けば行動が起こせる、すぐに実践しようとする意識になるよう参加者自らが自発的に行動を起こせるよう、実践の効果が体感できて継続的にも実践できるよう、理論の学びと実践ワークと参加者同士の共有に工夫を行いました。また、各々に対して個人的な対応も行いました。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

親子関係は虐待・貧困を根絶し、誰もが心理的に安心して平和に暮らせる社会になるように貢献できる要であるとの確証を実例の数々を通して事実として得ました。ゆえに、人間関係を学ぶという教育・家庭教育の普及こそが持続可能な社会づくりの発展・継続に直に密接に繋がると確信をもって声をあげ、社会に広めていくという展望を抱いています。

今後は多くの人々、子育て世代の親たちや教育者、保育者のような子どもにかかわる大人たち普及していくことは無論のことで社会的に影響のある政治家、実業家、研究者の方々やメディアやエンターテインメントの世界にも普及して世論の動きとなるような活動に

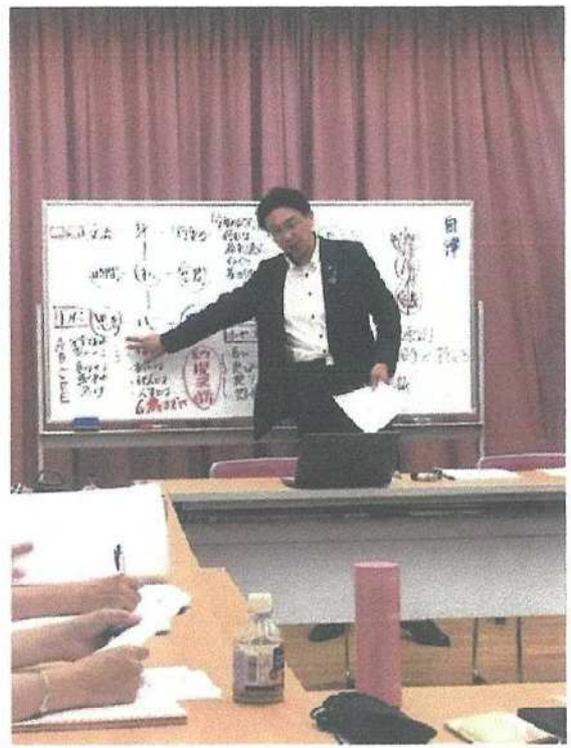
(様式第8号)

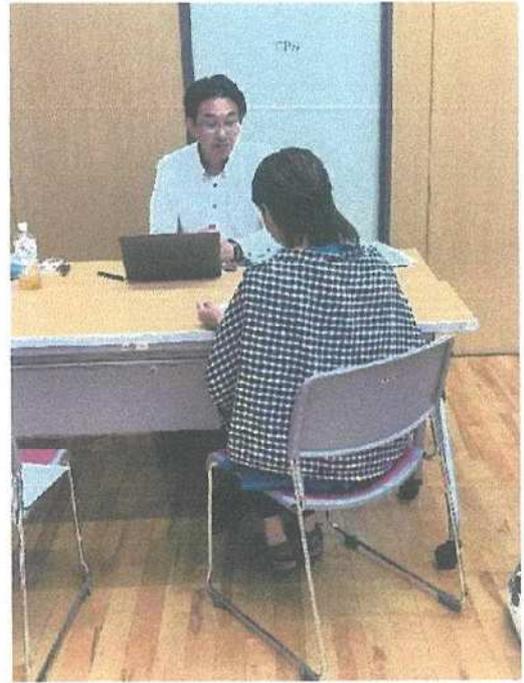
発展させていくことを課題とします。

日本から虐待・貧困・心の病による社会問題を根絶し心の通い合う温かい家族関係・親子関係のもと誰もが豊かで幸せな人生を謳歌できる地域づくり国づくりを展望として活動していき、国家の繁栄と平和な世界の実現に貢献できるよう課題をこなしていき、岡山地域のESDの取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながる核となって尽力してまいります。

2025年度 岡山ESDプロジェクト活動支援助成事業

2025年7月12日(土)開催「人育て人育ちセミナー」講演写真





2025年度 岡山ESDプロジェクト活動支援助成金関連事業

2025年10月20日(月)開催「自立の実現のために甘えの真実と構造」講演写真

